

外構部品をプラン図で配置する手順

文書管理番号：1022-02

Q. 質問

自動車などの外構図の部品を、プラン図で利用したい。

プラン図の付属品の部品を、屋根伏図で利用したい。

内観部品を付属品として配置したい。

A. 回答

プラン図、屋根伏図、外構図それぞれで利用できる部品を、テーブル登録し別の分類に追加することで、別のアプリケーション（プラン図、屋根伏図、外構図のいずれか）でも利用できるようになります。

例えば、外構図の部品をプラン図で配置することができ、平面図に自動車部品を表現する場合などに利用できます。

部品のテーブル登録は、3次元部品作成プログラムで行います。

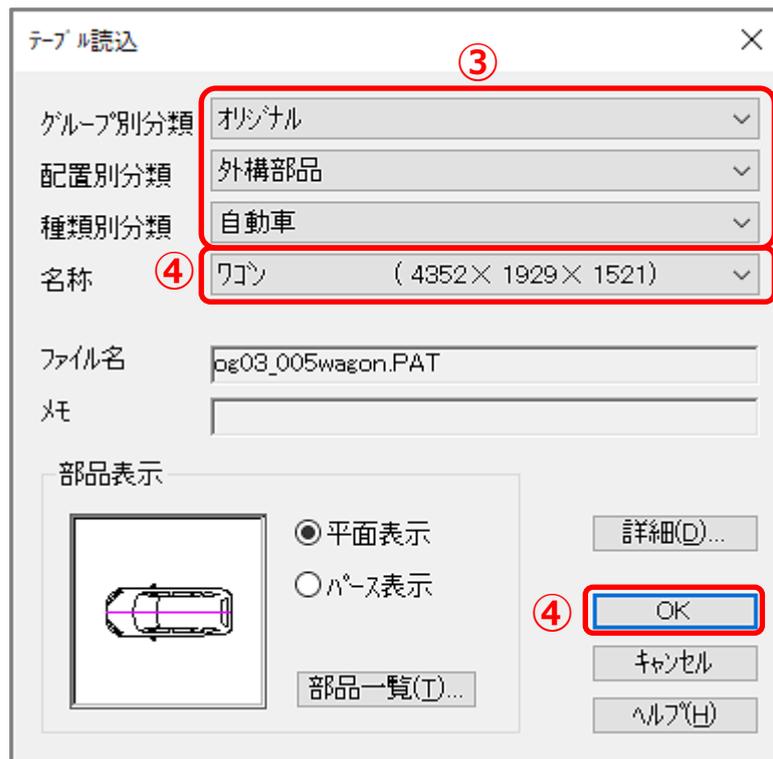
ここでは、「外構部品」の自動車部品を、プラン図でできるように「付属部品」に追加登録する手順を説明します。

操作手順

● 部品の読み込み

- ①  (クイックメニュー)またはメインメニューの「ツール・他」タブから  (部品作成)をクリック
 - * 3次元部品作成の画面が表示されます。
- ②  (テーブル読み込み)をクリック
 - * テーブル読み込みの画面が表示されます。
 - * 「ファイル」⇒「テーブル読み込み」を選択してもかまいません。

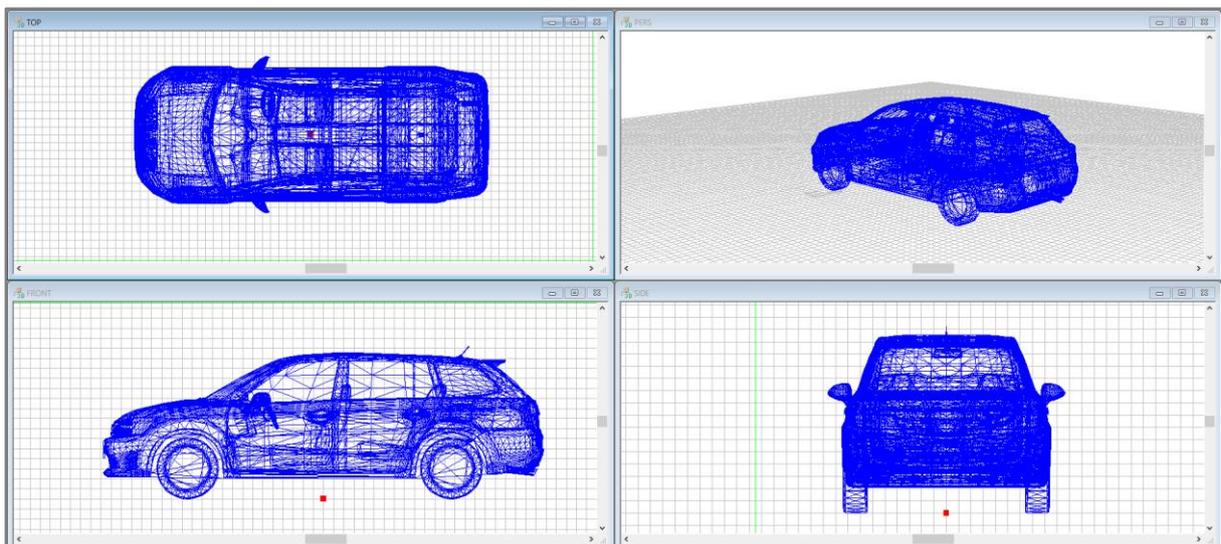
③ グループ別分類は「オリジナル」、配置別分類は「外構部品」、種類別分類は「自動車」を選択



* 自動車部品は、外構部品の「オリジナル」グループのほかに、「WEB 部品 1」「WEB 部品 2」のグループにもあります。目的の自動車部品が登録されているグループを選択してください。

④ 名称から目的の自動車部品を選択し「OK」をクリック

* 3次元部品作成画面に、選択した自動車部品が読み込まれます。

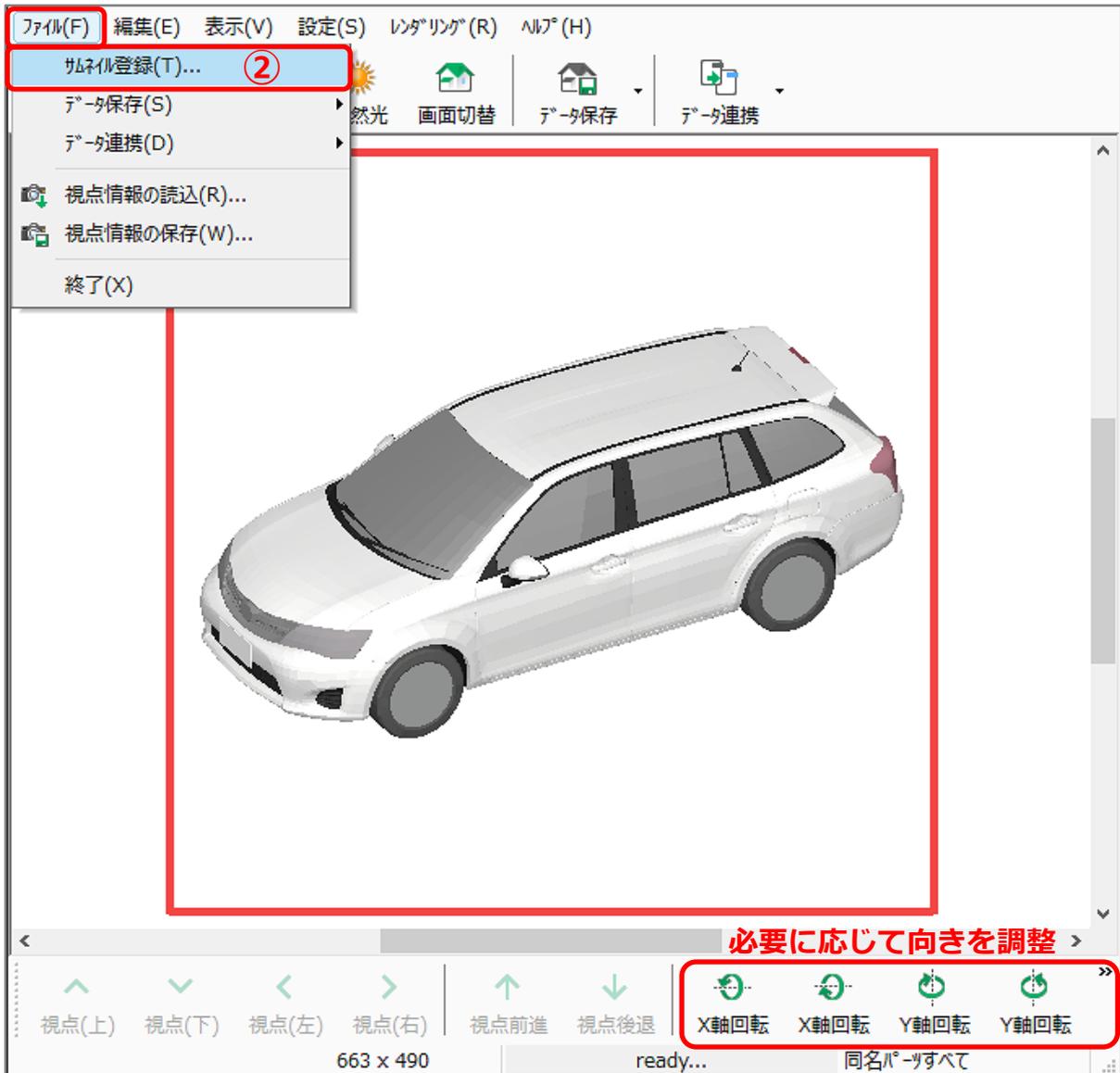


- サムネイル（部品のパース画像）の登録

①  (レンダリング)をクリック

* 3次元部品パース表示の画面が表示されます。

② 部品の向きを調整後、「ファイル」⇒「サムネイル登録」をクリック



* 背景・前景の設定画面が表示されます。

③ 背景・前景の設定はそのまま「OK」をクリック



* サムネイル登録の画面が表示され、部品パースのレンダリングが開始されます。

④ レンダリング完了後、「閉じる」をクリック



* 部品のサムネイル（パース画像）が自動で登録されます。

⑤ 3次元部品パース表示の画面も「×」をクリックし閉じる

* 「ファイル」⇒「終了」を選択してもかまいません。

● 部品のテーブル登録

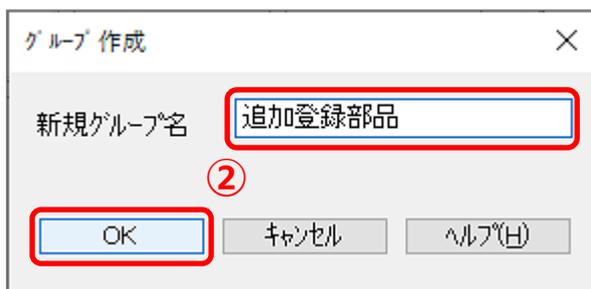
① (テーブル登録) をクリック

- * 「ファイル」⇒「テーブル登録」を選択してもかまいません。
- * グループ作成の画面が表示されます。
- * あらかじめ登録されているシステムグループ（オリジナルや WEB 部品など）には、部品を追加することができません。必ずグループを作成してください。
- * 既に作成したグループがある場合は、テーブル登録の画面が表示されます。既存のグループに登録する場合は、そのまま操作②へ進んでください。

新たなグループに登録する場合は、テーブル登録の前に、 (テーブル編集) の「グループ作成」でグループを追加してください。



② 追加登録する部品の登録先となる新たなグループ名を入力し、「OK」をクリック



- * ここでは、例えば「追加登録部品」としています。
- * テーブル登録の画面が表示されます。

- ③ グループ別分類を「追加登録部品」または既存の登録先グループに設定し、配置別分類を「付属部品」、種類別分類を「造作」に変更

* 名称、ファイル名はそのままかまいません。

- ④ 詳細情報の「設定」をクリック

* 詳細の設定画面が表示されます。

- ⑤ 立面基準「GL」、配置モード「2点」になっていることを確認し、「OK」をクリック

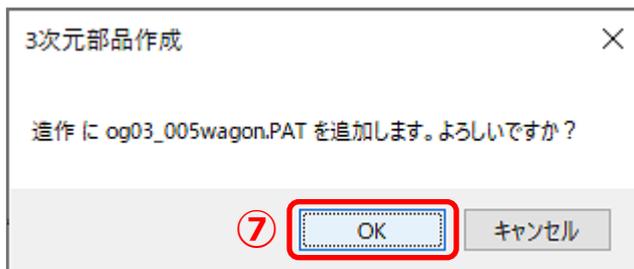
* テーブル登録に戻り、詳細情報の配置モードが「2点」に変わります。

⑥ テーブル登録の「OK」をクリック



* 追加確認のメッセージが表示されます。

⑦ 「OK」をクリック



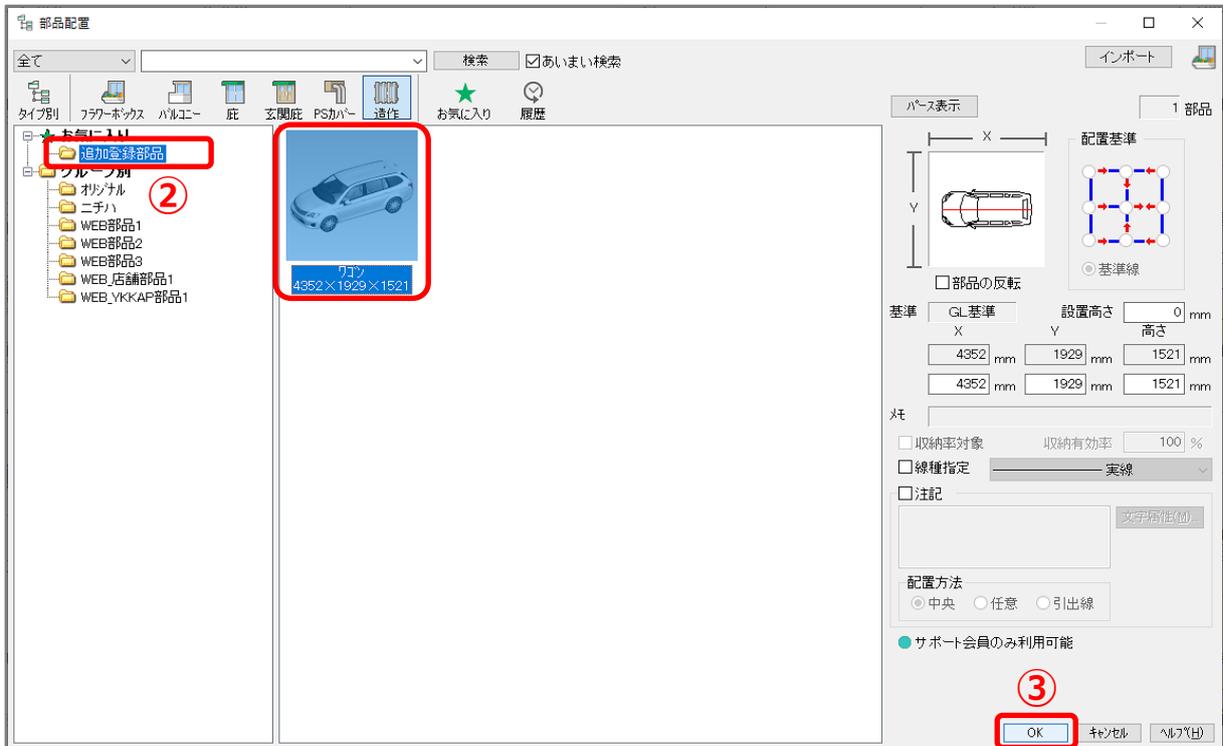
* 「付属品」の「造作部品」の「追加登録部品」に、目的の自動車部品が追加されます。

● 登録した部品をプラン図で配置

- ① (プラン図)を開き、 (付属品の) (造作部品)をクリック

* 部品配置の画面が表示されます。

- ② 左側のツリー表示から「追加登録部品」をクリック



- ③ 登録した自動車部品を選択し、「OK」をクリック

- ④ 部品を任意の位置に配置

同様の操作により、付属品の部品を屋根部品に登録し屋根伏図で利用したり、内観部品の部品を付属品として登録し利用することもできます。

